

**製品名: Sam 68 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab17585**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	68kDa

**抗原情報**

遺伝子名	KHDRBS1
別名	KHDRBS1; SAM68; KH domain-containing; RNA-binding, signal transduction-associated protein 1; GAP-associated tyrosine phosphoprotein p62; Src-associated in mitosis 68 kDa protein; Sam68; p21 Ras GTPase-activating protein-associated p62; p68
遺伝子 ID	10657.0
SwissProt ID	Q07666
免疫原	抗血清はヒト Sam 68 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 96-145

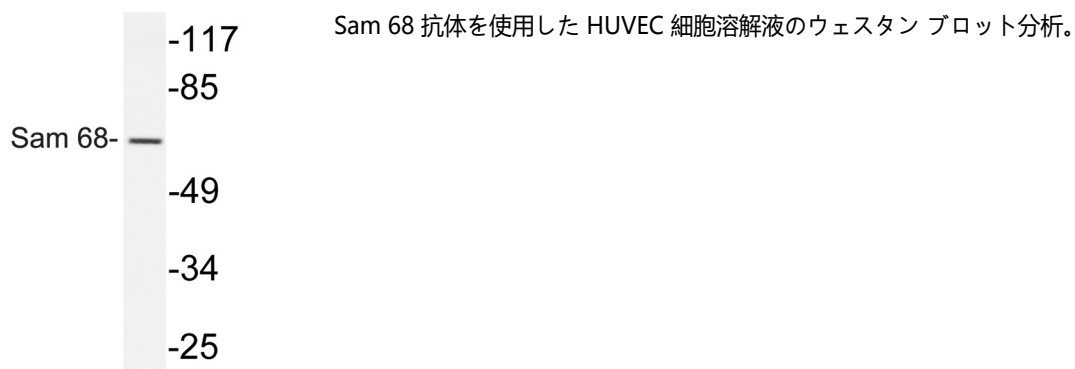
**背景**

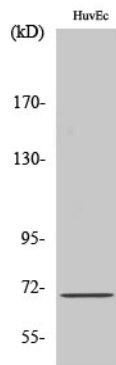
この遺伝子は、K相同ドメインを含む RNA 結合性シグナル伝達関連タンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は多くの機能を持つと考えられており、選択的スプライシング、細胞周期調節、RNA 3'末端形成、腫瘍形成、ヒト免疫不全ウイルス遺伝子発現調節など、様々な細胞プロセスに関与している可能性があります。選択的スプライシングは、複数の転写産物バリエーションをもたらします。[RefSeq 提供、2012年12月]、発生段階: アイソフォーム 3 は、増殖停止細胞でのみ発現します。、ドメイン: KH ドメインは RNA への結合に必要です。、ドメイン: プロリンリッチドメインは、アルギニン残基上で非対称ジメチル化され、DMA/グリシンリッチ領域を形成するアルギニン/グリシンリッチモチーフに挟まれています。これらのモチーフの選択的メチル化は、タンパク質間相互作用を調節することができる。、function:増殖停止細胞でのみ発現するアイソフォーム 3 は、S 期を阻害する。、function:T 細胞、レプチン、インスリン受容体などのいくつかの受容体システムによってリクルートされ、チロシンリン酸化される。リン酸化されると、SH2 および SH3 ドメイン含有タンパク質に結合して、シグナル伝達カスケードのアダプタータンパク質として機能する。細胞周期の G2-M 期進行における役割。CBP への結合をめぐって他の核因子と競合することにより、CBP 依存性転写活性化を抑制すると考えられる。また、mRNA の安定性や翻訳速度の推定調節因子として機能し、mRNA の核外輸出を媒介する。、PTM:アセチル化。RNA 結合能と正の相関関係にある。、PTM:Arg-291、Arg-331、および Arg-346 もジメチル化されており、おそらく非対称ジメチルアルギニンとなる。、PTM:アルギニンのメチル化は核局在に必須である。また、他のタンパク質との相互作用にも影響を与える可能性がある。Src 様 SH3 ドメインとの相互作用は阻害するが、WBP4/FBP21 および FBNP4/FBP30 の WW ドメインとの相互作用は阻害しない。、PTM:LCK、FYN、JAK3 など、いくつかの非受容体チロシンキナーゼによってリン酸化されるチロシン。RNA に結合する能力と負の相関関係にあるが、タンパク質との多くの相互作用に必要である。、配列注意:イントロン保持。、類似性:KHDRBS ファミリーに属します。、類似性:1 つの KH ドメインを含みます。、サブユニット:RNA に結合すると自己会合してホモオリゴマーを形成しますが、タンパク質に結合する場合はオリゴマー化が制限されるようです。CBL、KHDRBS3、LCK、GRB2、JAK3、PIK3R1、PLCG1、PTPN6、RASA1、RBM1A1、および STAT3 と相互作用します。PRMT1 と相互作用します。WBP4/FBP21、FBNP4/FBP30 の WW ドメイン、および FYN の SH3 ドメインに、Arg/Gly に富む側面の Pro に富む領域を介して結合します。、組織特異性:調査したすべての組織で普遍的に発現しています。アイソフォーム 1 は脳、骨格筋、肝臓で低レベルで発現しますが、アイソフォーム 3 は骨格筋と肝臓で強く発現します。

## 研究分野

シグナル伝達; アダプター; 膜貫通; エピジェネティクスと核シグナル伝達; DNA/RNA; RNA プロセッシング; 転写; その他の因子

## 画像データ





Sam 68 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析